

表 7.2. 若者を ODD または CD のリスクにさらす要因

## 子要素

気質: より困難な気質 (ネガティブな気分、適応力の低さなど) と軸  
の新しさの追求レベルが高い子供

神経心理学的欠陥: 妊娠中の言語機能、記憶、運動調整、  
および「実行機能」(抽象的な推論、計画、集中力、  
判断など)の欠陥

自律神経活動/覚醒度の低下

初期の行動上の困難: 早期に手に負えない状態と攻撃性  
が現れる

学業上の問題: 学習障害と知的機能の低下

セロトニン機能不全

頭部損傷、発作、その他の神経系損傷

その他の精神障害 (特に ADHD、PTSD、LD、薬物  
乱用、気分障害)

## 親と家族の要因

前産期および周産期の合併症: 妊娠および出産の合併症、  
未熟児および低出生体重児、軽度の出産傷害または合併症

家族の精神病理と犯罪行為: 親の犯罪行為、反社会  
的性格、アルコール依存症 反社会的性格、薬物  
使用、ADHD、気分の家族歴  
障害、LD

不適切な子育て: 親子間のコミュニケーションの強制、一貫性の  
ない規律、厳しいまたは体罰、寛容または過剰な親

不十分な監督: ルールがほとんどなく、監督が不足している

家族関係の質の低下: 親の子どもに対する受け入れが  
減り、温かさ、愛情、精神的サポート、愛着が減ります  
acolo

アレチンス 夫婦の不和: 紛争および/または家庭内暴力

ファミリーサイズ: より大きなファミリーサイズ

反社会的行為のある兄弟 (特に反社会的行為のある兄)

社会経済的不利: 貧困、過密、失業、劣悪な住居、経済的  
ストレス、支援の欠如

## 学校関連の要因

不適切な学校環境: 学業にあまり重点を置かない広い教室、教師  
による肯定的なフィードバックの頻度の低さ、生徒の個人的  
責任の軽視、不十分な設備と作業スペース、生徒の問題  
に対処するための教師やその他のサポートスタッフの不在

(続き)